
甘いお仕置 改正版

恵那にゃん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

甘いお仕置 改正版

【Nコード】

N5284Q

【作者名】

恵那にゃん

【あらすじ】

えっちな彼氏拓真と彼女の里麻の

甘いお仕置

1話

本文

「なあ？昨日いた男誰？里麻？」

家に戻って来た里麻に聞いて見る。

びくッ！

怪しすぎ・・・・・・

「そんな子はお仕置が必要だね？」

「えっ？いや・・・？ちが・・・？」

反応面白いなー

「拒否権ないから里麻は。」

「いや！拓真！聞い．．．んっ？」

話を遮って口付けをする

「ん．．．．．あん、んう、」

漏れる声。ほんと可愛い

お仕置なんて里麻とやる口実。

舌を口の中に入れる

「んっ．．．はあ、た．．．くまあ」

ああ、これだから”お仕置”を止められない

「里麻はどこ触って欲しい？」

「．．．．．っ？」

真っ赤になっちゃった

わかってたけど。

「俺のやりたい様にやるからなー？」

真っ赤のままコクンと頷いた

床に押し倒して、服を脱がす

ブラのホックを外すと

膨らみが現れた

乳房を舐めると

「んう、やあん・・・ん」

声が漏れる。

乳房を舐める、摘む、吸う。

ペロ．．．ぺロ．．．コロコロコロ．．．

「ん、あ．．．ん、あッ！ひゃあん」

次は膨らみを揉む。

充分に揉んだあと、

太ももを伝い、パンツを脱がせる。

「だ．．．めえ．．．」

潤んだ目で見つめられると

「ほんとにやめてもいいの？里麻？
アソコ弄って欲しいんだろ？」

そう言つと

「やめ．．．な．．．いで？」

と言う。

「足。開いて。」

いわゆるM字開脚。

そそのよな、この格好。

「ん．．．。」

言うことをきいて足を開く里麻。

「エッチな子だね？里麻。
こんな格好するなんて。」

1本、指を里麻のアソコに入れる

「んっ！あッ．．．た．．．くまの命．．．令．．．」

なの・・・につ！」

クチュ・・・クチュクチュ・・・

いやらしい水音が部屋に鳴る

「あーあ・・・里麻ったらこんなに
アソコ濡らしちゃって・・・」

これも俺の作戦。

「キレイにしくちなっ
俺がキレイにしてやるよ」

顔を里麻のアソコに近付けて
舐める。

舌を中にできるだけいれて舐める。

「やあ・・・だめえ・・・そんなところ
んう・・・はあッ・・・んっあエッチイ・・・」

里麻がイク寸前で舌の動きを止める

「もつとお・・・拓真あ・・・もつとお」

「俺腹減った。ちょっと待ってて」

甘い物が好きな俺はチョコシロップを冷蔵庫から出して戻った。

2話

チョコシロップを持って戻って来た
俺を見て里麻はきょんとしている

「なんか食べるんじゃないの？」

俺がしようとしてること分かったら
逆に怖いから。

「食べるよ。これを」

と言ってチョコシロップの蓋を開ける

スプーンにたっぷり付けてから
里麻を再び押し倒す

そして

ぺちやつ

里麻の太ももに塗る。

「えっ？ たっ拓真？ なにして．．ひゃっ」

それを舐める。

「おいし」里麻、食べて欲しい所に
自分で塗りな？」

そういいちヨコシロップを渡す

「えっ．．．？ できないよお．．」

「ほら、正直に塗りな？
どこでも食べてあげるから」

俺がそう言つと里麻は
自分の膨らみや乳房に塗りはじめた

その間にも

「んっ・・・んっ」

と言いながら感じながら塗っている

「できた？」

「うん・・・」

「じゃっいただきまーすっ」

舐める。たまに乳房を噛む
もちろんわざと

「んっふぁ・・・んっ、」

「もう満足？」

俺がきくと首を横に振った

すると今度はさつきよりたつぷり
チョコシロップをとって

自分のアソコに塗る。

「里麻はほんとエツチな子だなー
さつきもソコ舐めたのにな？」

「気持ちいいんだもん／＼／」

「いいよ、イカせてあげる」

もう一度里麻のアソコを舐める

「ンツ・・・あんツ・・・はぁ・・・んんっ」

里麻は俺にアソコを舐められたまま
いった。

「里麻・・・いったね？ズルい・・・
俺もイカせて？」

そういいズボンを下ろして
デッカくなったソレをだした

「ん．．．いいよ」

でも俺はM字開脚のままの里麻の
アソコから覗いているアレ．．．．

クリトリスを弄りたい衝動に駆られた

「やっぱりもう少しお仕置だな」

俺の舌は乳房を弄り、

俺の右手はクリトリスを弄る。

両攻め状態で里麻の反応がヤバイ

「ンンッ！あつ、ひゃん！んう．．．」

クリトリスをグニグニしたり

弾いてみたり

つまんでみたり・・・

その度に反応する里麻の軀

「や・・・アッ!んッあう・・・んッ!」

「また溶けてるよ?
里麻のココ?」

もう無理。挿れたい。

「挿れるよ?里麻」

3話

「まだ．．．だめ。」

拓真を気持ち良くしてあげる．．

そう言われたから

でっかいソレを里麻の顔に
近付ける。

「ん．．．パクツ．．．大っきい．．すごい」

ソレを口にくわえながら喋る里麻
舌を使ってソレを舐めたり吸ったり

「んツ．．．上手いよ．．．里麻

気持ちいい．．．挿れたいんだけど」

ほんとに我慢限界

「いいよ．．．」

やっと．．．．．キタ．．．．．！

足を再び開かせる

「挿れるぞ」

「んっ！ふぁ．．．んっ！っう」

俺と里麻は一緒にイッた

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5284q/>

甘いお仕置 改正版

2011年2月5日15時20分発行